

かんきつ園地の再編による施設栽培の大規模団地化

園地整備

担い手集積

品種転換

整列樹形

○取組者：愛媛県、松山市、JAえひめ中央

○所在地：愛媛県松山市（下難波地区）

○問合せ先：愛媛県中予地方局農業振興課地域農業育成室（089-909-8762）

活用した国の事業（予定等を含む）：農地中間管理機構関連農地整備事業（H30～R7）、
産地生産基盤パワーアップ事業（予定）



【取組概要】

・当該産地は**伊予柑の産地**であったが、傾斜地で複雑な地形の上、幅員の狭小な農道しかなく、**営農に多大な労力**を要し、生産意欲が低下。

・園地整備の要望はあったが、高齢化や**費用負担が妨げ**となり、事業化に至らず、放任園が散見。

・担い手への農地集積・集約化により産地を維持していくため、**農業者の費用負担によらず行える**農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、**園地整備**を実施。

・緩傾斜（3～5度）の**大区画の園地とかんがい施設を整備中**（調査時点）。

・愛媛県、松山市、JA等による推進組織により、導入品種の検討や地元調整、スマート農業の導入など、経営安定と収益性の向上に向けた支援を実施。

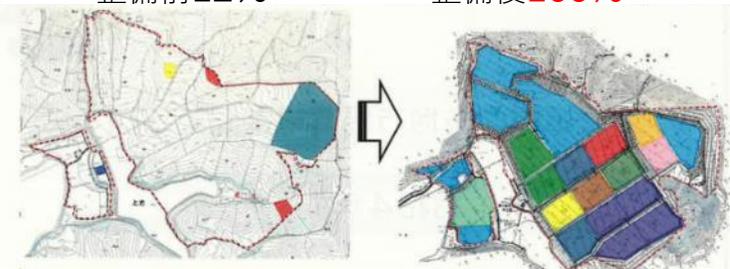
・整備園地に商品価値の高い**ブランド品種を導入**し、**施設栽培で高品質化**することで、**高収益な団地化のモデル**として推進する。

【整備内容】

担い手集積率

整備前**12%**

整備後**100%**



列幅を広く取り定植された苗木の様子。
今後、ハウスを導入して施設栽培を行う。

園地整備により、農地の集積・集約化を図る。農地の緩傾斜化と区画の拡大によりハウスの導入が容易になる。また、機械導入を想定した列植えにより作業時間の軽減を図る。

【苦勞】

特殊土壌（花崗岩風化土）ゆえの雨による**土壌流亡**と**苗木の生育不良**に苦慮。

【工夫】

定植前に**たい肥投入**（10t以上/10a）と**緑肥栽培**による土壌改良を実施。

【苦勞】

整備前の園地は無接道の園地が点在しており作業性が悪かった。

【工夫】

区画整備により全ての園地を接道させ、資材や果実の搬入搬出の作業性を向上。

★伊予柑産地から紅まどんな、せとか等の**ブランド品種産地への転換**により、**生産額400%増加**を目指す。

【今後の展望】

・緩傾斜化と整列樹形によりスマート農業の導入が容易となり、ラジコン草刈機や自律走行運搬車等の実用性を検証し省力化を図る。
・園地再編の取組を波及させるとともに、ブランド品種の導入等による**“儲かるかんきつ経営”**の実践を目指す。